

---

# クビネコ

氷

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

クビネコ

### 【Nコード】

N7271C

### 【作者名】

氷

### 【あらすじ】

どうも、ネコです。突然ですが、クビになりました！これで僕も無職！だけどそんな僕を、頼れる仲間達が助けてくれます。死神のしーくん、高校生の美咲ちゃん、ゲーム店で働くキツネ太郎など…やはり持つべき物は友達ですね。まあ、普段はバカにされたりするけど…そんな僕のほんわか小説。読んでね。

1： クビネコ誕生編 1

どうも、皆さん。

ネコです。

ネコがしゃべってます。

僕は今、とある会社で働いています。  
もう働き始めて二ヶ月。  
あつという間でした。

給料もいいし、周りの人間も優しい。  
僕だけネコだからって、差別する人もいません。

そう、僕の人生は今、蔷薇色に染まって……

「ネコ君、君はクビだ」

えーと……。

状況説明します。

ついさっきまで、お昼ご飯を会社の上司と食べていたのですが、  
社長が僕と話をしたり、社長室に連れ込まれたワケで…

で、入って数秒で、この衝撃発言されたというワケです。

「なええ、いや、ちよちよちよ……」

突然の爆弾攻撃に僕の頭は真っ白。

クビ？　なんで！？　こんなに働いているのに！？

「ちよつと社長！！　なんでですか！？」

「すまんがお、ネコ君。君の毛が、その、あたりに飛び散って、それで……」

なあああ！？　それだけの理由で！？

「す、すぐに荷物をまとめて出て行ってくれ……」

ああああああああああ！？！？！？！？

「社長お……お願いします……」

僕は必死にお願いします。

「もう毛は飛び散らせないからああ……ぐすん」

「……分かった、ネコ君。本当の事を言おう」

え！？

「実は私、猫アレルギーなのだ」

神よ、私が何をしたというのですか……？



## 2： クビネコ誕生編 2

「もしもし、母さん？ 僕だよ、ネコだよ」

…こんにちは、ネコです。

ついさっき、会社から追い出されたネコです。

とりあえず、実家には報告しよう（本当は言いたく無いが）公衆電話で実家に電話。

「お、ネコ？ どう、元気？ 真っ昼間からどうしたの？」

「あ、母さん。実はね、その〜」

「早く言いな」

「やばい、母さんキレてる！！」

「うっわ、本当の事いったら怒られるだろうな！」

「実はね、母さん。会社クビになっちゃった」

「え……………」

ある意味、怒られるよりショックだ。

「ごめん、もう一度言って」

「会社クビになっちゃった…」

「マジででででー!?!?」

マジです。

「うっわ、どうすんのネ!?!?」

「え〜と、とりあえずそっち行って良い? 色々説明したいし」

「分かった。すぐに来てよ?」

何日かは世話になろう。

あああ、どうしよう?!

交通費で財布はスツカラカン。

結構遠いんだよね〜、実家。

な感じの事を考えながら、僕はバスの中に居た。

後少しで実家に着くはずだ。

さて、何て言おう?!

「こんにちは」

実家のドアを開けながら、僕は言った。

「おお、お帰りネコ」

母さんが、笑いながら奥から出て来る。

「で、どうしてクビになったの？ 教えてよ」

「いやいやいや、先に家に入っていていいかな？」

というワケで家に入っていく。相変わらずデッカい家。

何を隠そう、僕の父さんは社長である。どっかの会社の。あ、そこで働こうかな？

もちろん実家は金持ち。仕送りしてくれ。

「ネコ、どうなったの？ どうしてクビに？」

僕はお茶を飲みながら説明した。

「猫アレルギーね。災難だったわね、ネコ」

「全くだよ。本当に最悪。これからどうやって生きていこうっ…」

頭を抱え込む僕の肩を、母さんが叩いて来る。

「しっかりしなさい！ 大丈夫！ 新しい職が見つかるまでお金は送ってあげるから」

「マジで！」

「明日になったら帰りなさい。分かった？」

「イエッサー！」

とにかくよかった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7271c/>

---

クビネコ

2010年12月26日03時58分発行